

平成 20 年 2 月 20 日

各 位

東京都中央区新川一丁目 17 番 24 号
サムシングホールディングス株式会社
代表取締役社長 前 俊守
(コード番号：1408)

問合せ先：

取締役管理本部長経営企画部長 笠原 篤
(電話番号：03 - 5566 - 5555)
(<http://www.sthd.co.jp/>)

子会社の柱状杭造成に関する特許取得のお知らせ

サムシングホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：前俊守、証券コード番号：1408 大証ヘラクレス）の 100%出資子会社である株式会社サムシング（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：前俊守）は、この度、柱状杭造成に関する特許を取得いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

本特許の内容

発明の名称：柱状杭造成装置および柱状杭造成方法

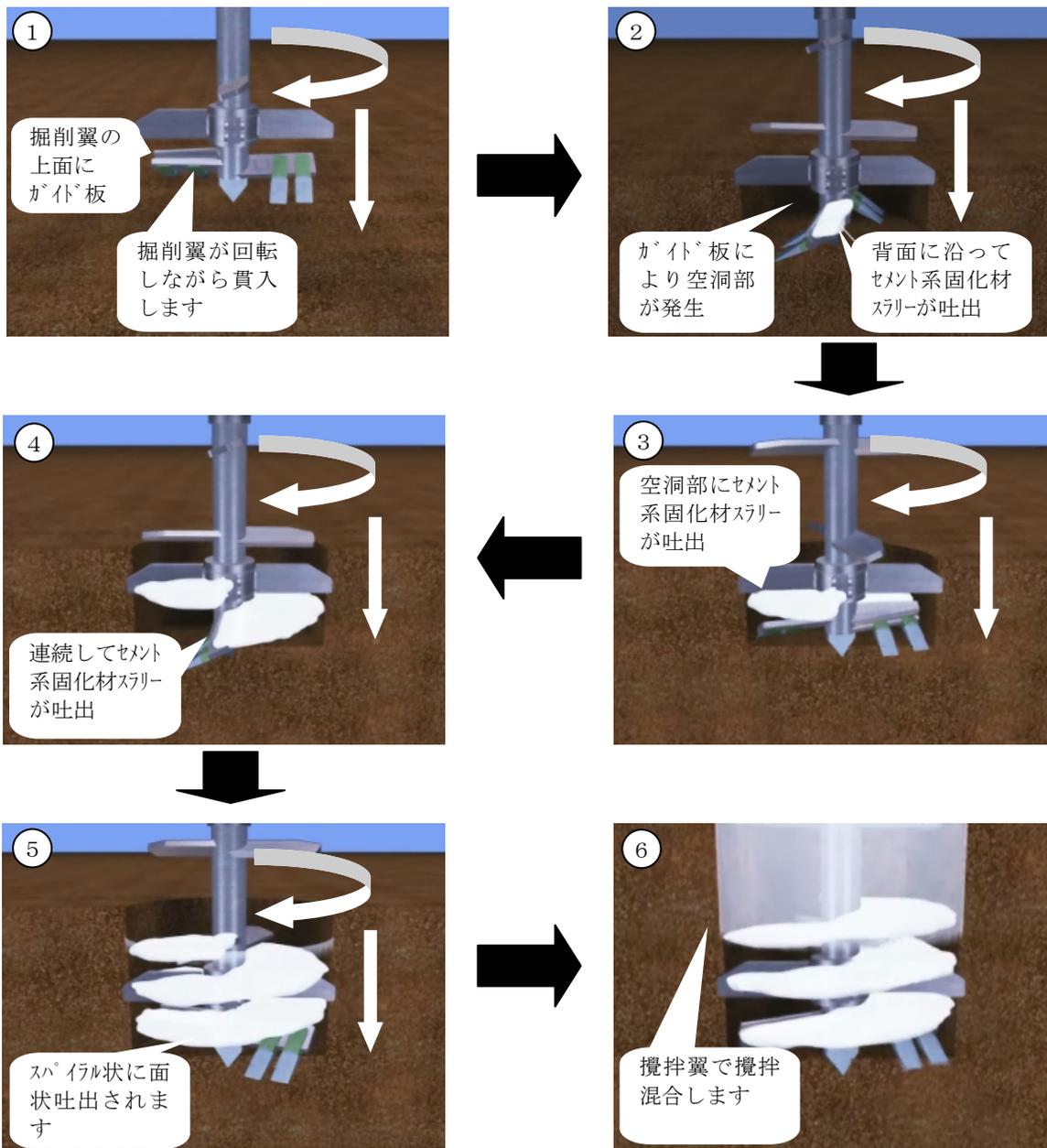
出願番号：特願 2005-106002

本特許は、地盤が軟弱な為、その地盤上に建築物等の築造が困難である場合、対象となる地盤に施す地盤補強工法である柱状改良工法（※）とその造成装置に関するものです。

（※）柱状改良工法とは専用の施工機を使用して、セメント系固化材をスラリー（固体と液体の混合物）状態にし、地盤中に注入しながら攪拌翼で機械的に攪拌混合することにより、地表面から支持層（硬い地盤）まで柱状の改良体（土とセメント成分が混ざり、強固に固化したもの）を地中で築造し地盤強化を図るものです。その上に建築物や擁壁等を構築します。この様な柱状改良工法は 2m～8m の深さで行われるのが一般的です。

本特許の内容としては、吐出されたセメント系固化材スラリーが直ちに、原地盤中に平面的に帯状に分散でき、貫入と引き抜きの 1 工程で、均質且つ所定の強度を有する柱状杭を造成することができる柱状杭造成装置および柱状杭造成方法になります。

具体的には、掘削翼が地盤中に回転して貫入する際、掘削翼の上面に設けたガイド板で土が押しつけられ空洞部が発生し、この空洞部にセメント系固化材スラリーが吐出されます。そして、セメント系固化材スラリーは掘削翼が深さ方向に貫入しながら、更に連続して吐出されるので、地盤中にスパイラル状にセメント系固化材スラリーが残されます。このようにセメント系固化材スラリーが面状吐出されることになるため、その後の攪拌混合が従来に比べて容易になり、均質且つ所定の強度を有する柱状杭造成が可能となります。



以上